

安全にご使用いただくための注意事項





(必ず本注意事項と併せて取扱説明書をお読みください)

このたびは、本製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本製品は9部組の状態でお客様のもとにお届けさせていただいております。お客様ご自身で、ハンドルの組立て・かごの装着・ペダルの締付け作業を行っていただく必要があります。本誌をご覧ください。組立てたあとは、必ずお近くの自転車店などにお持ち込みのうえ、有技術者による整備および点検を必ず行ってください。

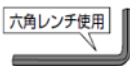
【注意事項】

- 以降の手順にしたがって組付けが完了したあとに、自転車店などで必ず初期点検を行ったうえでご使用ください。
- 左側のペダルはすでに取付けられた状態でお届けしておりますが、仮止めの取付けとなっております。そのままご乗車されると、ペダルが脱落する恐れがあります。
- ハンドルはしっかり固定してください。締め付けが緩いと事故につながりますのでご注意ください。
- 乗車前に必ず点検を行ってください。
- 異常を確認した場合は、直ちにご使用を中止し、自転車店などで点検をお受けください。
- 購入後、1年ごとの定期点検(初回点検:購入から2ヶ月後目安)の実施をお守りください。
※点検に要する費用等につきましては、お客様ご自身でご負担していただく必要があります。

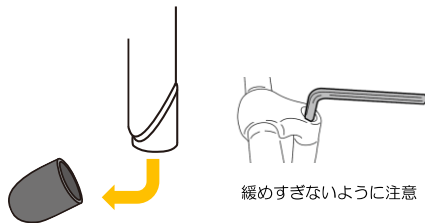
警告表示について 警告表示は危険の程度に応じて次の区分で表示しています。

 警告	取扱いを誤った時に使用者が、死亡もしくは骨折などの重傷を負う可能性が想定されるもの。
 注意	取扱いを誤った時に、使用者が障害を負う危険が想定されるとき及び、物的障害の発生が想定されるもの。
 禁止	危険の程度と関係なく、道路交通法で禁止されている行為（荷台等に二人乗りをする等）又は、当自転車ではいけない行為。
 強制	使用者に必ず実行していただきたいこと。

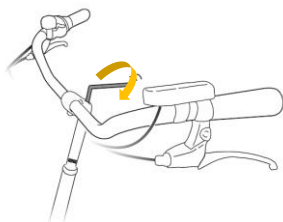
1、ハンドルの固定、調整



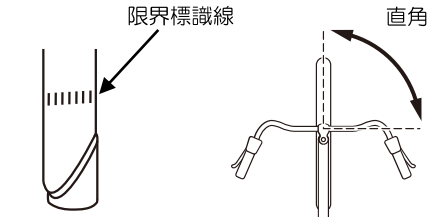
ハンドルは本体から外れた状態でお届けしております。






緩衝材やハンドルポスト先端のキャップを外します。キャップはハンドル上部のねじを緩めて取り外してください。



ハンドルを本体に差し込みます。このとき、左右の配線がかごブラケットの上で交差するようにします。配線がねじれたりしていないことを確認してください。



ハンドルの高さは限界標識線が見えない位置で調整してください。角度はタイヤと直角になるように調整します。

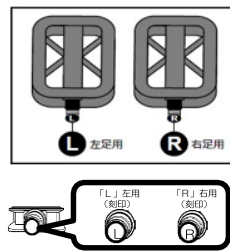
 警告	各部の固定を適正に行わないでご使用されると、事故につながる恐れがあります。点検をしていない自転車には乗車しないでください。
 注意	ハンドルに“がたつき”や“ふらつき”、その他異常を確認した場合は、ただちに使用をやめて、自転車店などにご相談ください。
 強制	自転車店などで必ず初期点検を行ってください。点検を怠った場合、品質保証を受けられない場合があります。

付属の工具（六角レンチ）を使ってハンドルを固定してください。固定したあと、がたつきがないか確認してください。

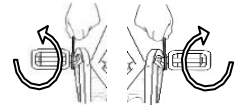
2、ペダルの固定



- ペダルには左右があります。
- 左のペダルは装着されてお届けていますが、乗車前に締め付け確認が必要です。
- 右のペダルは軸部を時計回りにまわして装着ができます。
※ペダル本体をまわしても装着できません。
- 無理に装着すると部品が破損する恐れがあります。
- 工具を使用して、しっかりと固定してください。



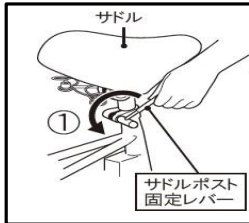
左ペダル (L)
反時計回し



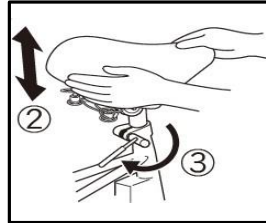
右ペダル (R)
時計回し

<p>注意</p>	<p>ペダルを適正トルクで固定せずに乗車すると、ペダルが脱落し部品が損傷する可能性があります。また、事故につながる恐れがあります。</p>
<p>強制</p>	<p>自転車店などで必ず初期点検を行ってください。 点検を怠った場合、品質保証を受けられない場合があります。</p>

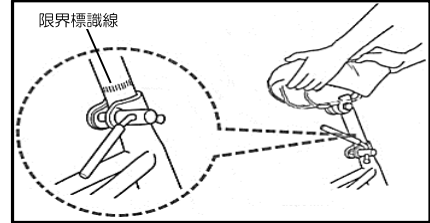
3、サドルの調整



固定レバーを左回しにまわしてゆるめます。



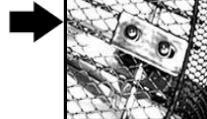
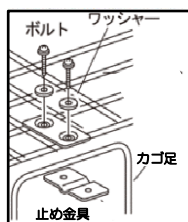
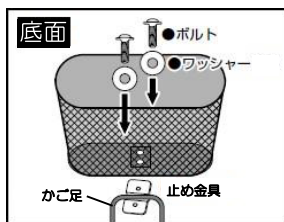
サドルの高さを調整して固定レバーを右回しにまわして固定します。



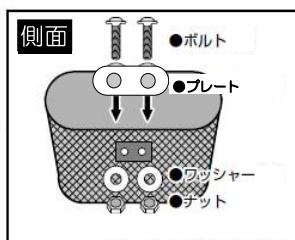
限界標識線が隠れるように高さ調整をしてください。
限界標識線が見える位置で固定し乗車すると部品が破損する恐れがあります。

<p>警告</p>	<p>固定レバーをまわして、しっかり固定してください。 固定がゆるいとバランスを崩して転倒事故につながる恐れがあります。</p>
<p>強制</p>	<p>限界標識線が見える位置で高さを調整してはいけません。 部品の破損・けがにつながる恐れがあります。品質保証の対象外にもなります。</p>

4、かごの装着



- かご足の下から止め金プレートを押し当てます。
※かご足の位置がずれている場合は、手で力を加えて前後に調整してください。
- ボルトにワッシャーを通して、かごの内側から止め金プレートのねじ穴に向けてねじ込みます。
- 2つのボルトを交互に均等に締め付けてください。
- ねじの固定がゆるいと振動で異音することがあります。しっかりと固定してください。



- ワッシャーを通したボルトをカゴ側面部の穴に内側から差し込みます。
- そのままかごブラケットの穴までボルトを通します。
- ブラケットの裏側からワッシャーを通してナットを装着します。
- ナットを簡易スパナで固定して、ボルトをプラスドライバーでねじ込み固定します。
- 運送中の振動で、カゴブラケットが曲がっている場合があります。
曲がっているときは当て布をあてたハンマー等でたたいて調整してください。